



協力：アフリカ子どもの本プロジェクト、東京大学 阿古智子研究室、つくろい東京ファンド

主催：バッパーセブンおはなし文庫

「アフリカを読む、知る、楽しむ子どもの本」展

バッパーセブンおはなし文庫は、あじあんコモンズ(阿古智子氏主宰)で、日本のみなさん、中国やアフリカから来たみなさんと一緒に、紙芝居と絵本を楽しむ会を続けてきました。その「絵本と紙芝居のつどい」2周年記念として「アフリカを読む、知る、楽しむ子どもの本」展を2か所で開催します。第2会場は、活動拠点である「あじあんコモンズ」です。

日本と中国とアフリカをつなぐ新しい試みです。

アフリカ関連の絵本や児童書120点の中から、昔話の絵本や、生活・文化を伝える本、パネルなどをセレクトして展示します。気軽にお立ち寄りください！

黄色い壁の建物だよ



第2会場 あじあんコモンズ

住所：中野区新井 3-12-3 (中野駅北口から徒歩10~15分、沼袋駅から7分)

日時：2026年1月24日(土) ~ 1月25日(日) 10:30~16:30

イベント

1/24 (土) ●11:30-12:00/13:30-14:00/15:30-16:00 アフリカの絵本や紙芝居を楽しむ

1/25 (日) ●11:30-12:00/15:30-16:00 アフリカの絵本や紙芝居を楽しむ

●14:30-15:30 アフリカの人となかよし

(アフリカから来た方たちが、言語や民族衣装などを紹介してくれるかも！)



バッパーセブンおはなし文庫とは？

2017年、紙芝居文化の会有志により結成され、神保町のブックハウスカフェで定期的に「紙芝居カフェ」を開いています。さらに2024年1月から、「あじあんコモンズ」で、バッパーフレンズと共に、2か月に一度、月末の日曜日に、絵本と紙芝居の楽しさを届けています。

ブログ：<https://ameblo.jp/otokomae-20200713/> 連絡先:nozaka.etsuko@gmail.com

つくろい東京ファンドとは？

一般社団法人つくろい東京ファンドは、2014年6月「市民の力でセーフティネットのほころびを修繕しよう！」を合言葉に、東京都内で生活困窮者の支援活動をおこなってきた複数の団体のメンバーが集まり、設立されました。

アフリカなど海外の方たちへの生活支援の活動も行っています。

ウェブサイト：<https://tsukuroi.tokyo/about/>



アフリカ子どもの本プロジェクトとは？

絵本『エンザロ村のかまど』(福音館書店)の出版をきっかけに、ケニアに子ども図書館がオープン。この図書館作りに関わった有志が「アフリカ子どもの本プロジェクト」を設立、現在、アフリカで2つの図書館を運営しています。ウェブサイト：<https://africa-kodomo.com/>

活動目的

1. アフリカに設立したドリームライブラリー(現在2館)を継続的に支える。
2. 識字や楽しみのための本を必要としているアフリカの子どもたちがいれば、そこに本を届ける。
3. 日本の子どもたちに、アフリカの文化やアフリカの子どもたちのことを伝える。